

## 株式会社黒木本店

## 「人と大地が一体となった生き方とものづくりを目指して」

## 株式会社黒木本店 会社概要

所在地	宮崎県児湯郡高鍋町
創業	1885年(明治18年)
従業員数	44名
認証取得	2008年11月14日 (JQA-EM6232)
登録範囲	本格焼酎の製造販売、焼酎廃液の肥料化・飼料化



黒木敏之社長

宮崎県高鍋町にある株式会社黒木本店は焼酎ファンにはおなじみの銘柄を製造する本格焼酎メーカー。黒木本店では10年ほど前から焼酎廃液を肥料や飼料にするというリサイクルに取り組んでおり、また製品の原料を自社で作りたいという思いから農業生産法人「よみがえる大地の会」を立ち上げ同農業生産法人でGAP\*1や有機JAS認定\*2を取得するなど積極的に第三者認証を活用している。もともと環境への意識が高かった黒木本店が昨年11月環境マネジメントシステムの第三者認証であるISO14001を取得した。その目的を黒木敏之社長にうかがった。

「私たちは『人と大地が一体となった生き方とものづくりを目指して』というビジョンのもと、焼酎の製造だけでなく焼酎廃液のリサイクルや、農業生産法人で有機農法による焼酎の原料生産を行ってきました。全体で環境に取り組むに当たってきちんとした仕組みをつくりたいという思いがありました。全従業員で目標を共有し目標を達成するための仕組みをつくって、ビジョンにより近づいていこうとISO14001にチャレンジしようと思ったのです」。

ISOの導入を従業員は皆積極的に受け入れたという。「QC活動に10年ほど前から真剣に取り組んでいたため問題点を見つけて改善していく社風が定着していたし、いいものをつくりたい、いい仕組みをつくりたいという従業員の意識も高かった」と黒木社長は語る。

「黒木本店は小さな会社ですが国際規格であるISO14001に基づいてシステムを構築できたということで従業員が誇りに思う会社づくりに貢献できました。従業員が誇りを持つことは焼酎づくりにも反映され消費者からの信頼にもつながります。またいろいろな会社や組織と同じ基準の価値観を持てた、つまり共通言語で話することができるようになったことはよかったです。環境への取り組みについてもより高いレベルを目指していく仕組みができました」。

明治18年の創業から123年、伝統を継承しながらも新しい仕組みを取り入れ常に改善を続けている黒木本店。黒木社長は最後にこう語った。「国際規格であるISOを取得したからといって海外展開は考えていません。世界に通用するシステムを構築して世界に通用するお酒を作りたいだけです。お酒はその土地や地域に根づいているものです。私たちにとってはよりローカルであることがグローバルになることだと思っています」。



宮崎県高鍋町にある黒木本店社屋

\*1) Good Agricultural Practice。農業生産工程管理。農産物の安全確保、品質向上、環境保全、労働安全などを目的として農業者自らが行う農作業の工程管理のこと。

\*2) 有機食品がJAS規格に適合した生産が行われていることを登録認定機関が検査し、認定された事業者のみが有機JASマークを付けることができる制度。